



1年の精進と無事故を祈って

備前おさふね刀剣の里 打初式

令和7年1月12日、備前おさふね刀剣の里（長船町長船）で、1年の精進と無事故を祈る打初式を行いました。

鍛刀場に刀剣製作に関わる職人らが集まり、火床や道具類を祓って本年の精進と無事故を祈願。刀匠が火床に新年最初の火をおこし、刀の材料となる玉鋼の打初めなどを行いました。

その後は、古式鍛錬を2回に分けて一般公開しました。参加者らは、刀匠が重い槌を振りかぶり、熱せられて真っ赤になった玉鋼を打つ姿を間近で観覧し、飛び散る火花や鍛刀場に響き渡るキーン、キーンという甲高い音など、迫力ある伝統技術に魅了されていました。



▲神事の様子



いつまでもお元気で

100歳を迎えた高齢者をお祝い

満100歳を迎えたお祝いに、武久市長らが3人を訪問しました。

9月16日に誕生日を迎えた松井鈴子さん（長船町福里）は17日、入居している施設で家族とともにお祝い状を受け取りました。結婚前は保育士をしており、結婚後は農業を営んでいました。若いころは水彩画や染め物が趣味でした。習字が得意で、公民館で教えていたこともあります。長寿の秘訣は「好き嫌いがなくこと」。

9月20日に誕生日を迎えた上森和子さん（邑久町虫明）は24日、入居している施設で家族とともにお祝い状を受け取りました。虫明郵便局に勤務していた夫と結婚し、局長を務めた夫を支えました。現在は新聞を読むのが日課で、誰よりも元気にテレビの体操をし、掃除をしたり洗濯物をたたんだりして過ごしています。好き嫌がなくごはんをよく食べ、おやつの時間を楽しみにしているそうです。

また、9月6日に誕生日を迎えた平岡博志さん（長船町服部）は24日、自宅で家族とともにお祝い状を受け取りました。鉄鋼の仕事や土木の現場監督をしていた平岡さん。もの作りや溶接が得意で、自宅前の倉庫や小庭を作ったり、農機具の修理をしたりしていました。自分の意志を強く持ちながらもやさしい性格で、人づきあいが広く自宅にはたくさんの方が訪れていました。現在は自宅でゆったり過ごしています。

皆さん、これからもますますお元気で過ごしてください。



▲武久市長とともに記念撮影する松井さん



▲武久市長とともに記念撮影する上森さん



▲ご家族、武久市長とともに記念撮影する平岡さん

大人としての決意新たに

令和7年瀬戸内市二十歳の集い

令和7年1月12日、ゆめトピア長船で令和7年二十歳の集いを開催しました。今年の対象者は334人で、この日は258人が出席しました。

式典では、参加者を代表して二十歳の集い実行委員長の今田幸希奈さんが「大人としての自覚と責任を持ち、感謝の気持ちを忘れることなく、社会に貢献できる存在になります」と誓いの言葉を述べました。

式典終了後は記念行事として、実行委員が企画から運営まで手掛けた抽選会が開催され、大いに盛り上がりしました。

友人との久しぶりの再会に、思い出話に花を咲かせたり写真を撮り合ったりして、会場は喜びと笑顔にあふれました。

誓いの言葉を述べる今田幸希奈さん ▶

